



地域（亀山市）と連携の取れた三重県づくり

三重県議会議員

県政レポート

長田たかひさ

2016年3月
No.29



事務所

〒519-0124 亀山市東御幸町233-2
TEL 0595-82-8700 FAX 0595-82-8775
ホームページ <http://www.enjoy-nagata.jp/>

所属委員会等

- 戦略企画雇用経済常任委員会 委員（戦略企画部、雇用経済部、出納局、議会事務局、監査委員、人事委員会、労働委員会の所管及びこれに関連すること）
- 予算決算常任委員会 委員（予算、決算及びこれに関連すること）
- 広聴広報会議
- 三重県手話言語に関する条例検討会

◇皆様のご意見をお聞かせ下さい◇

●平成28年定例会（1月～3月）から

■まち・ひと・しごと創生関連予算

（平成27年度補正＋平成28年度当初）の概要

「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく対策

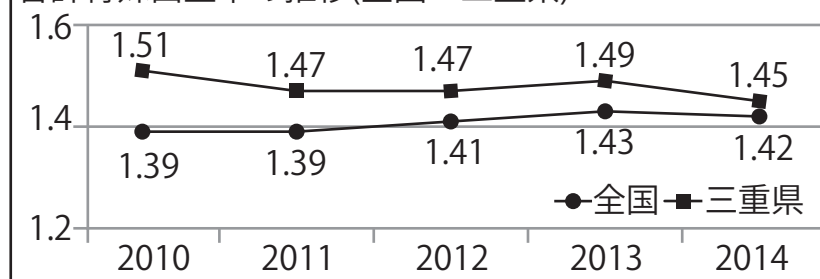
1 自然減対策

27,895,263千円

基本目標 結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、すべての子どもが豊かに育つことのできる三重

数値目標 ①県の合計特殊出生率をおおむね2024年度を目途に1.8台に引き上げる。

合計特殊出生率の推移（全国・三重県）



②「地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合」を、平成36年度に67.0%まで引き上げる。

子ども・思春期：8,597,731千円

子どもの貧困対策（子どもの貧困対策推進事業／一人親家庭自立支援事業）等

若者／結婚：159,418千円

出逢いの支援（みえの出逢い支援事業）等

妊娠・出産：736,839千円

不妊に悩む家族への支援（不妊相談・治療支援事業）等

子育て：18,401,275千円

保育・放課後児童対策などの子育て家庭の支援（保育対策総合支援事業）等

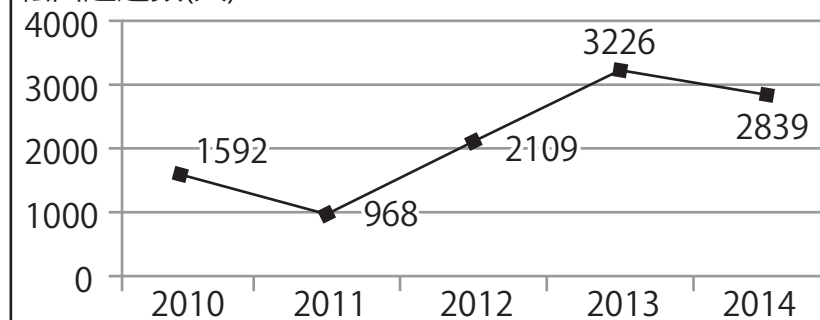
2 社会減対策

37,868,559千円

基本目標 「学びたい」「働きたい」「暮らし（続け）たい」という希望がかない、みんなが集う活気あふれる三重

数値目標 県外への転出超過数を、毎年280人改善し、2019年度には転出超過数を1,600人にまで改善する。

転出超過数（人）



学ぶ：922,541千円

若者の県内定着の促進（地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業）等

働く：16,380,807千円

しごとの創出（経営向上支援事業）等

暮らす：20,565,211千円

総合的な移住の促進（移住促進情報発信拠点運営事業／移住促進のための市町支援事業費）等

<参考>平成27年国勢調査（速報値）の結果より

	人口（人） H27年 国勢調査	人口（人） H22年 国勢調査	人口（人） H27-H22	増減率 （％）	参考	
					一票の格差 対亀山市 （最大）	議員 定数 （45名）
津市	280,016	285,746	-5,730	-2.01	1.26	7
四日市市	311,089	307,766	3,323	1.08	1.13	7
伊勢市	127,868	130,271	-2,403	-1.84	1.18	3
松阪市	163,912	168,017	-4,105	-2.44	1.23	4
桑名市	140,226	140,290	-64	-0.05		
木曽岬町	6,360	6,855	-495	-7.22	1.37	4
鈴鹿市	196,251	199,293	-3,042	-1.53	1.02	4
名張市	78,807	80,284	-1,477	-1.84	1.28	2
尾鷲市	18,015	20,033	-2,018	-10.07	1.46	1
紀北町	16,343	18,611	-2,268	-12.19		
亀山市	50,265	51,023	-758	-1.49	—	1
鳥羽市	19,455	21,435	-1,980	-9.24	1.44	2
志摩市	50,360	54,694	-4,334	-7.92		
熊野市	17,322	19,662	-2,340	-11.90		
御浜町	8,746	9,376	-630	-6.72	1.35	1
紀宝町	11,206	11,896	-690	-5.80		
いなべ市	45,821	45,684	137	0.30	1.41	2
東員町	25,350	25,661	-311	-1.21		
伊賀市	90,377	97,207	-6,830	-7.03	1.67	3
菰野町	40,208	39,978	230	0.58		
朝日町	10,563	9,626	937	9.73	1.53	2
川越町	14,747	14,003	744	5.31		
多気町	14,893	15,438	-545	-3.53		
明和町	22,589	22,833	-244	-1.07	1.07	1
大台町	9,559	10,416	-857	-8.23		
玉城町	15,439	15,297	142	0.93		
度会町	8,312	8,692	-380	-4.37	1.11	1
大紀町	8,942	9,846	-904	-9.18		
南伊勢町	12,786	14,791	-2,005	-13.56		
計（三重）	1,815,827	1,854,724	-38,897	-2.10		45
計（全国）	127,110,047	128,057,352	-947,305	-0.70		

◇県政報告会を行っています

434回	1月01日	出屋公民館	441回	2月01日	栄町公民館	448回	2月20日	下庄集会所	455回	3月13日	長明寺
435回	1月10日	三寺町公民館	442回	2月06日	みずきヶ丘集会所	449回	2月21日	森公民館	456回	3月15日	みずほ台集会所
436回	1月12日	弘法寺	443回	2月06日	和田団地集会所	450回	2月25日	南條公民館	457回	3月19日	能褒野町公民館
437回	1月16日	中庄町集会所	444回	2月07日	徳原農事集会所	451回	2月27日	太田宮農研修センター	458回	3月20日	岩森公民館
438回	1月23日	井尻公民館	445回	2月11日	小下公民館	452回	2月28日	町公民館	459回	3月20日	久我集会所
439回	1月24日	和田町公民館	446回	2月13日	川合町公民館	453回	3月06日	井田川地区北コミュニティセンター	460回	3月20日	一色公民館
440回	1月30日	神向谷公民館	447回	2月14日	井田川町公民館	454回	3月12日	田村町公民館			

伊勢志摩サミット関連予算の概要

伊勢志摩サミット関連予算の状況	予算区分	予算額	財源内訳 (単位:千円)					
			県			国	その他	
			県費	県債	基金繰入金	国庫支出金	寄附金	その他
	27年度 12月補正まで	6,688,915 【6,701,915】	285,114	5,489,000	342,589	419,159	150,000	3,053 【16,053】
	27年度 2月補正	1,077,153	▲328	▲1,395,000	205,931	1,986,550	280,000	0
	28年度 当初	1,538,873 【1,551,873】	843,595	0	0	665,257	20,000	10,021 【23,021】
	計①	9,304,941 【9,330,941】	1,128,381	4,094,000	548,520	3,070,966	450,000	13,074 【39,074】
	27年度 最終補正②	99,392	▲121,993	▲565,000	▲142,788	932,173	0	▲3,000
	総計(①+②)	9,404,333 【9,430,333】	1,006,388	3,529,000	405,732	(★)4,003,139	450,000	10,074 【36,074】

※【 】書きは、県民会議における市町負担金分(平成27、28年度とも13,000千円)を含む額を表記

(★)国からの財政支援:公共事業関係(27.1億円)、警察費補助金(4.7億円)、地方創生関係(3.6億円)、消防防災救急関係交付金(3.5億円)、医療施設等設備整備費補助金(1億円)

1 伊勢志摩サミット推進局分

805,653千円

開催支援:125,504千円

各国首脳等の歓迎・交流 / インフォメーション機能の整備 / 報道関係者等の歓迎・支援等

おもてなし:110,466千円

クリーンアップ活動、花いっぱいおもてなし運動 / サミットフォーラムの開催等

明日へつなぐ:160,144千円

ジュニア・サミット参加者との交流等 / 国際理解・国際交流プログラム等 / 大学生・留学生との交流事業(※1) / サミット記念館の設置(※1)等(※1:サミット終了後の事業)

三重の発信:280,992千円

三重県情報館(仮称)の設営・運営 / 海外プレスツアー、プロモーション / 県内・県外イベントでのPR、ポスター等によるPR / 動画CMの放映等

その他事務所設置費・運営費等:128,547千円

県民会議事務局運営費・会議費、現地事務所設置経費等

2 安心・安全な開催に向けた対策

8,624,680千円

テロ等対策費:1,452,298千円

主要国首脳等の身辺の安全確保、伊勢志摩サミット及び関連行事の円滑な進行の確保並びに安全・安心な県民生活の確保に万全を期する。

消防防災関係サミット対策事業:357,691千円

防災・危機対策に万全を期すため、消防・救急特別警戒体制の確保等に向けた取組を推進する。

食の安全食品検査事業:17,711千円

食品関係施設の監視指導、食品の検査等に関する必要な事項を定め、食品による事故発生を防止する。

災害医療体制強化推進事業:5,848千円

伊勢志摩サミット開催時における緊急医療体制を確保するため、現地医療本部を設置する。

公共事業:6,167,900千円

国補事業:5,281,298千円(うち外務省:1,232,353千円、うち国交省:4,048,945千円)、県単事業:886,602千円

その他事業:623,232千円

ジュニア・サミットについて

目的

ジュニア・サミット参加者が三重県の魅力に触れるとともに、三重県の子供達に交流機会を提供する。

開催内容について

- 名称:「2016 年ジュニア・サミット in 三重」
- 開催期間(予定):平成28年4月22日から28日まで
- 主会場:ナガシマリゾート(桑名市長島町浦安)
- 主催:外務省、共催:伊勢志摩サミット三重県民会議
- 討議テーマ:「次世代につなぐ地球〜環境と持続可能な社会」
- 参加者:G7各国の原則として15歳〜18歳の4名のチーム(男性2名、女性2名)及び付添人1名
- 使用言語:英語
- 主なプログラム(暫定):
 - 4月22日(金)開会式、会議
 - 4月23日(土)会議、討議に資する視察、交流行事
 - 4月24日(日)会議
 - 4月25日(月)県内分散型体験・交流行事
 - 4月26日(火)会議、三重県送別行事、東京に移動
 - 4月27日(水)、28日(木)政府首脳に成果文書提出、都内視察

日本代表参加者(4名)

- 稲葉 陽樹(いなば はるき)三重県立津高等学校(2年)
- 加藤 杏弥(かとう あみ)三重県立川越高等学校(2年)
- 上堀内陸王(かみほりうちりくおう)私立東海高等学校(愛知県)(1年)
- 藤山 春衣(ふじやま はるい)三重県立四日市高等学校(2年)

討議に資する視察について

討議テーマである「次世代につなぐ地球〜環境と持続可能な社会」に基づき、環境保全と経済成長を両立し、健全な環境を次世代に継承し、持続的な発展をする方策について議論するため、三重県ならではの討議テーマに関する視察を行う。

- 実施予定日:平成28年4月23日(土)午後
- 視察先:赤須賀漁業協同組合(桑名市)
四日市公害と環境未来館(四日市市)
NTN(株)先端技術研究所(桑名市)

県内分散型体験・交流行事

県内4コースに分散して各地を訪れ、三重の美しい自然や豊かな伝統・文化などを体験・体感するとともに、県内高校生をはじめ県民との交流を深める。

- 実施予定日:平成28年4月25日(月)
- 訪問先(4コース分散型):
 - Aコース:御在所ロープウェイ(菰野町)、鈴鹿サーキット(鈴鹿市)、関宿(亀山市)
 - Bコース:深野だんだん田(松阪市)、まごの店(多気町)、一身田寺内町 専修寺(津市)
 - Cコース:伊賀流忍者博物館(伊賀市)、赤目四十八滝(名張市)
 - Dコース:伊勢神宮(伊勢市)、いつきのみや歴史体験館(明和町)